

令和元年度事務事業評価シート(平成30年度実績)

◎基本情報

事務事業名	史跡等地域文化財保存活用事業		担当部署	教育委員会 生涯学習人權課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	文化財保護法	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり	事業期間	開始	平成 <input type="text" value=""/> 16 年度
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと			終期
(小項目)		文化財		未定 <input type="text" value=""/>	
施策	4	文化財の保護と活用			
基本事業	2	文化財の保護と活用			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 ①国指定史跡「鳴門板野古墳群」 ②「板東俘虜収容所跡」 ③市域内出土収集文化財														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	①国指定史跡「鳴門板野古墳群」の保存活用 ②「板東俘虜収容所跡」の国指定史跡化 ③市域内出土収集文化財の展示・収蔵施設の整備と活用														
事業計画	30年度に何を計画していたか	①国指定史跡「鳴門板野古墳群」の普及活用事業(展示会・見学会等)を実施するとともに、保存活用検討委員会を開催する。 ②「板東俘虜収容所跡」の国指定史跡化を目指すとともに、「ドイツ兵の慰霊碑」の保存修復を実施する。 ③市域内出土収集文化財の整理および活用														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>史跡等地域文化財の保存活用</td> <td>20</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	単位	史跡等地域文化財の保存活用	20	30	30	30	30	%
指標名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	単位										
史跡等地域文化財の保存活用	20	30	30	30	30	%										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	30年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	①国指定史跡「鳴門板野古墳群」について、各古墳の一般公開事業を実施したほか、保存活用計画の策定に向けた検討委員会を開催した。 ②目標通り、「板東俘虜収容所跡」が国指定史跡に指定された。これを受け、周知啓発事業(シンポジウム・ウォーキングイベント)を実施した。また、個別の説明板を設置したほか、「ドイツ兵の慰霊碑」の保存修復を実施した。 ③収蔵している出土資料(収容所跡)の展示を「鳴門のまつり」でおこなった。						
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		29年度実績	30年度実績	元年度目標	2年度目標	3年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	国指定史跡「鳴門板野古墳群」の保存活用	10	20	20	30	30	%
	2	「板東俘虜収容所跡」の国指定史跡化(30年度まで)および保存活用(元年度以降)	90	100	10	20	20	%
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	史跡等地域文化財の保存活用		20	35	-	-	-	%
	目標達成率(実績/目標)			116.7	-	-	-	%
今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり			

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成30年度	当初予算額	0	33	0	2,400	838	3,271
		補正予算額	0	0	0	2,500	△ 909	1,591
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	33	0	4,900	△ 71	4,862
		決算額	0	33	0	3,978	537	4,548
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,321千円/人)	臨時職員(2,125千円/人)	総人件費		総事業費	
		0.8	0.0	5,857	10,405			

事業費推移	年度	29年度決算	30年度決算	元年度	2年度	3年度
	事業費	574	4,548	1,674	1,062	605
	うち一般財源	541	537	1,641	1,029	572
	人件費	5,787	5,857	5,857	5,857	5,857
	総事業費	6,361	10,405	7,531	6,919	6,462

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった		①鳴門板野古墳群に関する見学会及び保存活用計画策定に向けた検討委員会を実施できた。 ②板東俘虜収容所跡が国指定史跡の指定を受けた。
	効率性	A:効率的だった		史跡の保存及び環境整備については、業務委託により必要な作業を進めることができた。
②成果に対する評価	指標名	史跡等地域文化財の保存活用		古墳群の保存活用および環境整備に関する取り組みができた。また、収容所跡が国指定史跡の指定を受けて、これに伴う周知啓発事業を行うことができた。また「ドイツの慰霊碑」の保存修復を実施できた。このほか、個別の説明板を設置した。
	目標	30	%	
	実績	35	%	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		A		古墳群の保存活用や環境整備を行うことができ、収容所跡についても国指定史跡の指定を受けることができたほか、慰霊碑の修復作業も行った。また、収集文化財の整理や展示活用を一部行うことができた。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	①史跡指定を受けた「鳴門板野古墳群」の保存活用計画策定に向けた検討委員会を実施する。 ②史跡指定を受けた「板東俘虜収容所跡」の保存活用計画策定に向けた検討委員会を実施する。 ③史跡の環境整備事業や、史跡を活用した周知啓発事業を継続して実施する。 ④収蔵文化財は、資料整理を進めるとともに、幅広く展示や貸出し等の活用を図っていく必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	R1年度	①古墳群：展示会や現地見学会などの周知啓発事業を実施すると共に、地域との協働による環境整備事業を継続する。また、保存活用計画策定に向けた検討委員会を開催する。 ②収容所跡：保存活用計画策定に向けた検討委員会を開催すると共に、平和学習の場としての活用に取り組む。 ③収蔵文化財の整理活用を進める。			
	R2年度	①古墳群：展示会や現地見学会などの周知啓発事業を実施すると共に、地域との協働による環境整備事業を継続する。 ②収容所跡：保存活用計画策定に向けた検討委員会を開催すると共に、平和学習の場としての活用に取り組む。 ③収蔵文化財の整理活用を進める。			